

## 目標は選抜大会へスト4 冬場は打力の強化を図る

「2019年の選抜大会では全国3位の成績を残すことができました。それ以来の出場になりますが、当然前回と同じか、それ以上の成績を狙っていきますよ」

愛知県知事旗争奪東海連盟秋季大会で3位となり、来春開催の全国選抜大会への出場を決めた愛知西リトルシニアの半田安利監督は、そう抱負を語る。

半田監督曰く、4年ぶり9回目の全国選抜大会出場を勝ち取ったチームの特長は「まとまりの良さ」。秋季大会ではチーム一丸となった全員野球を見せ、ベスト4へと

勝ち上がった。準決勝は半田監督と同年の小林晋也監督が率いる豊田リトルシニアと対戦。前回の全国選抜大会で3位となった強豪を相手に先制を許したものの、積極的な打撃でしつこく食らいつき、互角の展



野球の技術はもちろん、あいさつや礼儀などを教え人間力を高めることを指導の主眼に置く半田監督。「野球を通じて社会のリーダー育成に取り組んでいます」

AICHI NISHI LITTLE SENIOR / AICHI

【東海3県の中学生硬式野球・リトルシニア③】

# 自分の役割を果たした先に チームの勝利がある 愛知西リトルシニア

開へと持ち込んだ。終盤に突き放され最後は点差が開いてしまったが、全国でも十分に戦えるだけの力があることを示した。  
試合後、半田監督は「全国で上位へ行くためには、今日のような接戦を勝ちきる力が必要。そのためには走攻守すべての面においてレベルアップしなければなりません。特に力を入れたのが打撃の強化。冬の間、選手たちにはバットをたくさん振ってもらいます」と話した。選抜大会を見据え、この冬は指導に一層熱が入ることだろう。

## 初の選手間投票で選ばれた 責任感の強いキャプテン

「投打のバランスが取れたチームです。まとまりの良さなら、どこにも負けません」とチームの強みについて語るのにはキャプテンの緒方翼(2年)。半田監督が指揮を執るようになって初めて、選手間の投票によって選ばれたキャプテンだ。新チームの指導時に半田監督がキャプテンを指名するのが通例だが、リーダーシップのある選手が何人かいたことから、あえて選手たち自身に選ばせることにした。

多くの仲間たちが票を入れてくれたことについて緒方は「みんなが僕のことを信頼し、キャプテンにふさわしいと思ってくれていたことが分かりました。投票結果を知った時はとても嬉しかったです」という素直な思いと共に「選んでもらったからにはみんなの信頼に応え、チームに貢献しなければなりません。みんなをうまくまとめたい」というキャプテンの役割をしっかりと果たしていきたいと思えます」と決意を口にしました。

緒方がキャプテンとして大切にしていることはチームの一体感だ。「レギュラーで試合に出ている選手も、ベンチの選手も、それぞれに与えられた役割があります。全員がそれぞれ何をすべきかを理解し、全力で役割を果たすことができれば結果がついてくる」と秋季大会で分かりました。選抜大会でベスト4以上という目標を達成するためには、もっとチームの一体感を高め、選手個々が自分の役割を高いレベルで果たせるようにしていきたいと思えます」

持ち前のまとまりの良さが発揮できれば、4年前の選抜大会の再現は十分に可能はずだ。その戦いぶりに期待したい。

選抜大会へ向け自分自身の課題は打力アップだと話す緒方。「とにかく冬はバットを振りまわります」と意気込む



翔け  
未来のHEROたち

LITTLE SENIOR

文◎鶴 哲 聡  
写真◎宇野 嘉 晃